

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名		清掃工場見学者受入事務		部課コード	1809	予算事業科目	010403010201	事	単	区分	継続					
所管部署	担当部局	環境部		部長名(2次評価者)		坂本導昭		個別事務	一部	010403010201	-	101				
	担当部署	清掃工場		所属長名(1次評価者)		三本博三										
	電話番号	842-1171		E-mail	kc-180900@city.kochi.lg.jp											

1 事業の位置付け

予算科目(平成24年度)		高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け									
会計	01 一般会計	大綱	01 共生の環	政策基本方針	日々の生活で消費される化石燃料など天然資源の枯渇は、私たちの生活に深刻な影響を及ぼすことから、資源を有効に利用し、廃棄を最小限に抑える循環型社会の構築が求められています。市民・事業者・行政の協働による3R（リデュース、リユース、リサイクル）の徹底及びごみの発生抑制に取り組めます。また、廃棄物の不法投棄など不適正な排出の撲滅に向けた対策を充実します。						
款	04 衛生費	政策	06 環境負荷の少ない循環型社会の形成								
項	03 清掃費	施策	02 廃棄物の適正処理								
目	01 塵芥処理費	区分	05 収集処理体制の充実								

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		廃棄物処理及び清掃に関する法律		法定受託事務
県条例・規則・要綱等				
市条例・規則・要綱等				
その他(計画、覚書等)				

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	清掃工場に来場の見学者			
意図	どのような状態にしていくのか	ごみ処理の仕組みと環境保全への対策内容、搬入ごみの現状と問題点から分別の必要性などを説明することで、施設の安全性に対する理解と不安の払拭を図るとともに、環境やごみ分別の意識の向上啓発に寄与しようとするもの			
手段	事業実施体制等	職員	事業開始年度	平成14年度	
			事業終了年度	-	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	小学4年生の社会科見学、市民等(環境関係施設見学バスツアー含む)の見学、他自治体議員・職員等視察見学における受付、説明、案内・引率、掲示物等作成掲示、配付資料類の作成			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	清掃工場への来場者数	清掃工場へ環境学習のため来場した人の数		
	B				
	C				

4 事業の実績等

			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	清掃工場への来場者数	目標	-	-	-	-	平成25年度に5,000人を目標としている
		実績	4,050人	3,970人	4,120人			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)						
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	0	0	0	0	
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	3,700	3,600	3,600	3,700		
		正規職員 (千円)	3,700	3,600	3,600	3,700		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	0.50	0.50	0.50	0.50		
		正規職員 (人)	0.50	0.50	0.50	0.50		
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)		3,700	3,600	3,600	3,700			
市民1人当たりコスト (円)		11	11	11				
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,714	339,130	337,875				
					総コスト/年度末人口			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

清掃工場が市民にとって身近な施設として認識され、施設の安全性等が理解されることで、従前のごみ処理施設に対するイメージからの変革が期待できる。ひいては、この類の施設の建設に対する住民理解を円滑にできる。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 10 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	安定したごみ処理の継続には市民の協力と理解が不可欠であり、市の実施計画の目標達成につながるものである。市民のニーズに関しては、安定した推移となっている。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	市民が、ごみ処理や環境に関心を持つきっかけとしての学習の場として提供できているが、その活動は旧態のままであり新規性が望まれるところにある。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	B	3.0	受け入れ時期が、年度当初の繁忙時期に集中していることから、これまでの管理係・保安全管理係主体の対応から運転管理係職員を含めた全ての係職員で対応している。このことより、多くの職員が見学者への説明等に従事することとなり、結果として、説明に留まらず展示物を含めた効果的、効率的な啓発に職員の関心の高まりが期待できるところである。今後とも職員による効率的な事務執行に向け改善を継続する。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	原則として祝日・土日を除く平日の8時から16時45分(12時から13時の休憩時間を除く)において受け入れており、受付は先着順で公平性は高い。希望内容等によっては、土日の受け入れも実施している。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	15.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) ○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 12 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ B 経費削減に努め事業継続	環境学習の一環として、日常生活に密接・不可欠な清掃工場を見学し、ごみの減量や温室効果ガスの削減、ごみ発電等技術の進化を学ぶことで、社会の構成員としての自覚や施設の立地への理解、さらには自発的な環境保全活動等に取り組む動機付けとして有意義な事業であると考えている。
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項